

発行責任者：三枝 大輔  
編集責任者：細谷 仁人

## HEADLINE

●モンゴルの子どもたちに図書を！第4次図書贈呈交流団が出発しました！（5/28）

### ★モンゴルの子どもたちに図書を！第4次図書贈呈交流団が出発しました！

5日28(火)午前、三枝事務局長を団長とした、第4次図書贈呈団のメンバー8名が、モンゴルに向けて関西国際空港から出発しました。今回の交流団は、前回第3次に引き続き、神鋼鋼線工業労働組合との合同で実施され、当ユニオンから6名、神鋼鋼線労組から2名による計8名の若手メンバーで構成されています。交流団一行は、首都ウランバートル市を経由して、西へ約1,000キロ離れた交流先であるオブス県マルチン郡に向かいます。モンゴルの祝日「子供の日」である6月1日(土)に、マルチン郡で図書贈呈式を開催し、翌6月2日(日)にはオブス県の中心地であるオランゴム市で、当ユニオン及び神鋼鋼線労組のご家族、子どもさんたちが描いた絵画展のオープニングセレモニーに参加。交流の新しいページを切り開いて6月4日(火)に帰国の予定です。

私たちとオブス県との交流は、2002年に当時の事務局長であった井上育也氏の現地調査から始まりました。その後、2004年、2007年、2010年と交流団を派遣しています。2010年には寄贈先の図書室が「冷水真吾記念図書室」と命名され、その図書室には冷水真吾さんの肖像画と友好のモニュメントが所蔵されています。

今回も、この3年間に実施した古本市やガレージセールでの収益、皆さんからの心温まる寄付金などで約150冊の図書を購入し、この図書室に寄贈することになっています。

短期間ではありますが、マルチン郡の皆さんと様々な交流を図る予定です。ミッションを無事に遂行し、全員が元気で日本に帰ってくることを願います。



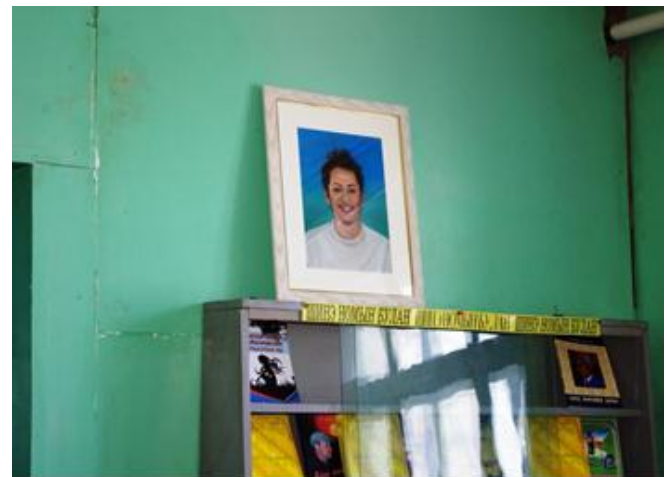
▲贈呈式の様子(2004年／第1次)



▲日本の子どもたちの絵画展(2007年／第2次)



▲冷水真吾さんご両親による友好のモニュメント除幕式の様子と冷水真吾記念図書室を見守る真吾さんの肖像画(2010年／第3次)



行ってきます！草原の国 モンゴルへ！



▲これから待ち受ける未知なるモンゴルでの出来事を想像し、大きな期待と少しの不安が交錯するメンバー！

(写真左から 三枝 大輔(団長・事務局長)、内田 雄大(播磨ブロック)、丸山 聡・山田 将大(神鋼鋼線工業労組)、小野田 草介(本社・研究所・大阪ブロック)、藤澤 卓(会計監査委員)、薫 伸浩(本社・研究所・大阪ブロック)、細谷 仁人(事務局・執行委員) 【敬称略】

### 三枝団長の出発にあたっての決意

私を除いて、7名のメンバーが初めてのモンゴル！マルチン郡へは8名全員が初めて！ということに加え、オブス県での写真展の開催やマルチン郡での記念式典などの重要なミッションもあり、正直不安の方が大きいですが、教育施設視察団として3月に来日された3名の先生方やデムベレルさんにお会いできることを楽しみにしています。まずはメンバー全員の健康と安全に気を配り、帰国してからもメンバーが第4次図書贈呈交流団で良かった！と思えるように、自分ができることを精一杯考え、やりとげたいと思います。そして自分自身も今回の経験が人生の宝物となるよう、モンゴルの大自然や人々との交流を五感で感じとってきたいと思います！

-----END-----